愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	世界史		
担当者(Instructors)	飯尾 圭司	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

今日のグローバル社会で生きてゆくためには、世界の諸地域がいかなる歴史を歩んできたのか、そして、現代の国際社会がいかにして形成されたのかを理解することが求められる。こうした歴史認識は、円滑な異文化コミュニケーションに資するのみならず、現在の社会が抱えている課題を認識し、解決することにもつながろう。以上の点を踏まえ、本授業は、近代的な国際秩序の成立という観点から、とりわけ「中世」から「近代」への展開に焦点を当てつつ、世界の歴史を概観してゆく。本授業を通じて、近代的な国際社会がいかに形成されてきたのか、そして、その形成過程でいかなる諸問題が生起してきたのかについて、主体的な分析・判断に基づき、自身の言葉で説明・表現できるようになることが期待される。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	本授業は講義形式で行う。テキストについては、授業プリントを配布する。毎回、疑問点や感想を記入したリアクションペーパーを提出してもらい、次回授業でそのフィードバックを行う。これにより、授業の双方向性を確保する。また、講義内容と関連する動画を授業で流すことで、ヴィジュアル的に世界史に関する興味・関心を深めてもらう（※著作権の関係上、対面授業でのみ）。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	イントロダクション	授業の説明、「古代」「中世」「近代」という時代区分	□
第2回	「古代」から「中世」へ	西ローマ帝国の滅亡と中世世界の成立	□
第3回	西ヨーロッパ世界の誕生・拡大	ローマ・カトリックを核とした西ヨーロッパ世界の形成と拡大	□
第4回	中世盛期・末期の社会	中世盛期・末期における農村・都市・経済の様相	□
第5回	騎士階級の成立とキリスト教	騎士道理念の出現と領主階級の統合、封建社会の構造	□
第6回	民衆の心性と異端	民衆による宗教運動の高まりと異端の出現	□
第7回	王国とエトニ意識	政治共同体としての王国と帰属意識	□
第8回	「中世」の終焉	英仏百年戦争と中世世界の終焉	□
第9回	「近世」の幕開け	イタリア戦争と宗教改革による主権国家の成立	□
第10回	ウェストファリア条約	三十年戦争とウェストファリア体制の成立	□
第11回	ウェストファリア体制下の諸国	17～18世紀のオランダ連邦、フランス、イギリス	□
第12回	消費社会と公共圏	消費社会の誕生、出版メディアと公共圏	□
第13回	「啓蒙」とアメリカ独立革命	啓蒙思想の総括としてのアメリカ独立革命	□
第14回	世界経済システム	ヨーロッパによる世界の一体化	□
第15回	「近代社会」の形成	授業のまとめ、「近代社会」はいかに形成されたか	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

予習：授業で提示する文献を読むなどして、その時代の特徴を把握する。授業で配布する「歴史基本用語プリント」にあらかじめ目を通し、授業の前提となる背景知識をおさえる（2時間程度）。 復習：講義内容をまとめる。授業で興味を持った事柄、あるいは疑問に思った事柄について調べ、主体的に理解を深める（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回、疑問点や感想を記入したリアクションペーパーを提出してもらう。次回授業で時間を確保し、そこでフィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	①近代的な国際社会の成立過程について説明できる。 ②①を踏まえ、現代社会が抱える諸問題について主体的に分析・判断できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
70%				30%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

毎回、疑問点や感想を記入したリアクションペーパーを提出してもらう。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし（プリントを配布します）	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	近藤和彦編『西洋世界の歴史』（山川出版社、1999年）。	978-4-634-64540-0
2		
3		
4		
5		